

CO2は何故減らないのか、 どうすれば減るのか？

キャノングローバル戦略研究所(CIGS)

杉山大志

2018年10月1日

於 CIGSシンポジウム

なぜCO2削減は進まないのか？

- コストが高いから。
- 巨額の補助 ⇒ 経済に悪影響 ⇒ 長続きしない

例： 再エネ全量買取制度

ドイツ： 7セント/kWhの電気料金上昇

日本： 3円/kWhの電気料金上昇 「抜本的な見直し(政府)」

必要なもの： アフォーダブルな技術

受容可能なコストでの(=アフォーダブルな)対策技術が出来ることが、環境問題解決の切り札だった。

例)

自動車の大気汚染(NOx): 三元触媒

発電所の大気汚染(SOx): 排煙脱硫設備

CO2削減の成功例

アフォーダブルな技術がある場合には、CO2削減は成功してきた

例

- シェールガス： 石炭を代替し、米国の発電部門CO2を大幅削減
- LED照明： 白熱電灯・蛍光灯を駆逐し、電力削減
- フラットディスプレイ： ブラウン管ディスプレイを駆逐し、電力削減
- PV： 産油国等、一部の国では経済合理的にCO2削減。

将来の展望

今後も多く技術進歩が見込まれる・・・

例)

自動車革命(自動運転、EV、シェアリング)

デジタル化(生産性革命を通じて大幅省エネ)

バーチャルリアリティ(モビリティ需要やオフィス需要を代替)

再エネ・CCSの低コスト化

・・・アフォーダブルな技術でCO2削減が可能になる

政府の役割: 良好な事業環境整備、技術開発支援、新技術導入の為の
制度整備